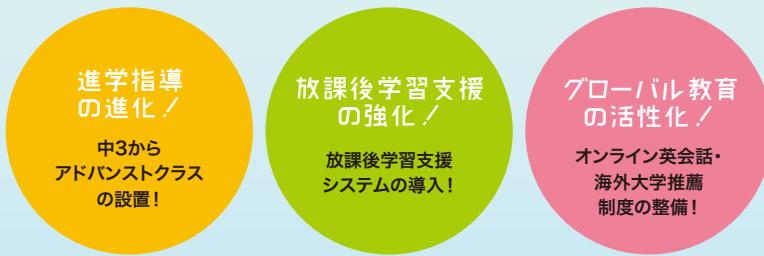


挑み続ける、変わり続ける、生徒の未来のために。



# 始動！



## 進学校・穎明館の挑戦！

「国際社会に羽ばたく真のリーダーを育成する」という建学の精神のもと、さらに良質な教育を目指して、

2019年4月より「EMK未来プロジェクト」が始動！進学指導の進化、放課後学習支援の強化、

グローバル教育の活性化を3つの柱とした学校の革新を、生徒の躍進へ。

新しい穎明館にご期待ください。

えい めい かん  
**穎明館中学高等学校**  
Eimeikan Junior-Senior High School  
TEL.042-664-6000 FAX.042-666-1101 <https://www.emk.ac.jp>

「EMK未来プロジェクト」始動

# 学校の革新を、生徒の躍進へ。

## 「国際社会に羽ばたく真のリーダーを育成する」

### より良い教育実践のための、3つのプロジェクト

#### 1 進学指導の進化

##### 中学3年生 「アドバンストクラス」設置

生徒全員にとって丁寧で  
わかりやすい授業を実践します!

中学3年生の1クラスをアドバンストクラスとして、難関大学への進学を見据えたハイレベルな授業を実施。さらに4クラスをスタンダードクラスとし、生徒の学力に合わせて、手厚くきめ細かい授業を展開します。



#### 2 放課後学習支援の強化

##### 放課後学習支援システム 「EMK未来サポート」の導入

“わかる”の先の“できる”まで、  
自学自習をサポートします!

生徒一人ひとりに応じた個の指導を強化すべく、放課後の自学自習を今まで以上に手厚くサポートするための「EMK未来サポート」を導入。学校完結型の学習をさらに目指します。



#### 3 グローバル教育の活性化

##### オンライン英会話・ 海外大学推薦制度の整備

実践的な国際教育により、  
生徒全員をグローバルリーダーへ!

開校以来、英会話授業の充実や全員参加の「USA・カナダ体験学習」の実施等、グローバル教育に力を入れてきましたが、さらに充実させるべく、オンライン英会話システムの導入、海外大学への推薦制度の整備を行っていく予定です。



### 「EMK未来プロジェクト」は

### 教職員全員によるプロジェクト!

新校長指揮のもと、5つのプロジェクトチームが連携し学校改革を推進します。

#### 橋本 好広

穎明館の中高一貫教育スタート初年度から中学1期生の副担任として教員生活をスタート。担任・学年主任・教頭・副校长を経験し、穎明館の歴史と共に歩み、33年目となります。一番近い距離で生徒一人ひとりと向き合い続け、良質な教育の追求・具現化に取り組んできた橋本新校長が、プロジェクトの中心に立ち、推進していきます。



#### 5つのプロジェクトチーム(PT)が発足

基礎学力向上・大学受験対策PT

カリキュラムマネジメントPT

特色教育構築PT

中長期目標戦略検討PT

広報PT

### 学校説明会・公開行事のご案内

下記の日程にご都合のつかないときは、個別学校訪問・個別相談をお申し込みください。

#### 学校説明会 要予約

- ① 6/29 土 進学指導について
- ② 9/7 土 グローバル教育について
- ③ 10/5 土 学校生活について
- ④ 11/16 土 入試問題アドバイス
- ⑤ 12/7 土 入試問題アドバイス
- ⑥ 2020/1/11 土 初参加者向け学校案内
- ⑦ 2020/2/22 土 中学入試報告

※①②⑥⑦は10:00~12:20

※③は14:00~16:20

※④は10:00~12:00。

⑤は14:00~16:00。この2回のみ

校内案内はありませんので、ご了承ください

#### オープンスクール 要予約

- 7/28 土 10:00~13:00
- 1次予約 6/15(土)~7/6(土)
- 2次予約 7/13(土)~7/27(土)

#### 文化祭 要予約

- 9/14 土 10:00~16:00
- 9/15 日 9:30~15:00

#### 体育祭 要予約

- 9/21 土 9:00~15:00

#### 塾対象説明会 要予約

- 10:30~12:20
- 6/17 月・10/21 月 学校紹介

えいめいかん

# 穎明館中学高等学校

Eimeikan Junior-Senior High School

〒193-0944 東京都八王子市館町2600

TEL.042-664-6000 FAX.042-666-1101

<https://www.emk.ac.jp>

emk

検索

#### ●アクセス

JR中央線・京王高尾線「高尾」駅・南口-京王バス 約15分(直行便約10分)

JR横浜線・京王相模原線「橋本」駅・北口-スクールバス 約25分



詳しくは本校ホームページをご覧ください。ご予約は本校ホームページのフォームよりお願いいたします。

# 2019年4月より『EMK 未来プロジェクト』始動！

穎明館は1985年に高等学校から開校し、今年2019年で35年目を迎えます。開校以来、「国際社会に羽ばたく眞のリーダーを育成する」という志のもと、EMK(Experience 経験、Molarity 道徳、Knowledge 知識)を教育の3本柱として教育実践を行なってまいりました。その結果、社会の様々な分野で卒業生たちが活躍しています。学校としては教育目標通りにリーダーが育っているのは穎明館教育の結果でもあると自負しております。この穎明館教育をさらに進化させるべく、2019年4月より『EMK 未来プロジェクト』が始動します。これは今までの本校の教育プログラムを、より時代に合わせた内容に改革すると同時に、新たな取り組みを加え、「現在から未来」の穎明館生たちの目標達成、自己実現を手助けしていくための学校全体のプロジェクトの総称です。

本校は開校以来、進学校として生徒一人一人が高い目標を持って大学進学を目指してきました。学校としては学力形成だけでなく、人間力を育てるために中学高校時代にしか出来ない体験プログラムを数多く用意してきました。その取り組みは生徒たち、卒業生たちの状況から成功していると断言できます。しかし、最近の穎明館生については変化も感じています。全体的には受け身の生徒が増えているのではないか。主体性や学力向上に対する意欲が少し低下してきたのではないか。そのような状況を鑑み、学校としては今一度進学校としての原点に立ち返り、「国際社会に羽ばたく眞のリーダーを育成する」ために学校改革を進めていこうと考えました。そのためには何と言っても学力の向上が欠かせません。『EMK 未来プロジェクト』の最大の目的は生徒の学力形成の基盤を整えることに他なりません。

## 橋本好広、新校長に就任

- 5つのプロジェクトチーム（PT）
  - (1) 基礎学力向上大学受験対策PT
  - (2) カリキュラムマネジメントPT
  - (3) 特色教育構築PT
  - (4) 広報PT
  - (5) 中長期目標戦略検討PT

## 2019年度新規プロジェクト

- (1) 中学3年生からアドバンストクラス設置
- (2) 「EMK未来館」（仮称）放課後学習支援センターの導入
- (3) グローバル教育のさらなる充実

「2019 穎明館教育の  
グランドデザイン」のもとに

## ● 橋本好広、新校長に就任

本校では、2019年3月いっぽいで前校長の寺山政秀が退任し、4月より前副校長の橋本好広が新校長に就任いたしました。橋本のプロフィールを簡単に紹介いたします。橋本は1987年

3月に早稲田大学第一文学部を卒業後すぐ、中高一貫教育スタートの年に穎明館へ奉職いたしました。1年目は中学1期生（穎明館6期生）の副担任、2年目からは担任として生徒たちと向き合ってまいりました。4年目からはその後途切れることなく17年間学年主任を務めました。その間、第10期、第14期、第20期の卒業生を送り出しました。23年目の2007年からは進学指導部長を4年間、2010年は教頭補佐も兼務し2011年に教頭、2012年に副校長に就任。昨年度まで7年間、穎明館の生徒のために尽力してきました。教員生活を穎明館の歴史と共に歩み、今年で33年目となります。趣味はテニスで、年に数回は早慶出身のテニス仲間と汗を流しています。穎明館教育を知り尽くしているからこそ、穎明館の今まで蓄積してきた自信のプログラムを継承しつつ、生徒の「未来」、穎明館の「未来」を見据えて大胆に学校改革を進めていく覚悟であります。新校長橋本とともに、今後の穎明館教育『EMK未来プロジェクト』にどうぞご期待ください。

## ● 5つのプロジェクトチーム(PT)

学校内では5つのプロジェクトチームが新たに発足しました。進学校としてすべての生徒の学力を向上させるための「基礎学力向上・大学受験対策 PT」、大学入試改革や新学習指導要領に対応すると同時に、穎明館オリジナルのカリキュラムを考えていく「カリキュラムマネジメント PT」、中長期的なスパンで穎明館ならではの新しい教育を考える「特色教育構築 PT」、学校の良さを外部の方にもっと知ってもらうためにはどうしたらよいかを考える「広報 PT」、そして、それらすべてのプロジェクトを有機的につなげるための「中長期目標戦略検討 PT」です。各プロジェクトチームがアイデアを出し、研究し、議論をして、より良い穎明館の「未来」を模索していきます。どうぞご期待ください。

## ● 2019年度新規プロジェクト

### (1) 中学3年生アドバンストクラス設置(4月より1クラス)

本校は高校1年で英語・数学が習熟度別授業になり、高校2年から理系、文系に分かれると同時に、国語・理科も習熟度別となります。高校3年では国立あるいは私立大学向けの4コースとなり、社会も選択授業となります。本校では中学3年間はクラス単位の授業を行っていますが、近年では低学年のうちから生徒間の学力差が開くようになってきました。そこで今年度より中学3年の1クラスをアドバンストクラス（以下AC）とし、高校において教科単位で行っている習熟度別授業をクラス単位で行うことにいたします。残りの4クラスをスタンダードクラス（以下SC）とし、生徒の学力に合わせた授業を展開していきます。本校では授業以外の講習・補習も数多く行っています。どの学年も上位者に対しては「発展講習」、下位者に対しては「指名者補習」を行っていますが、中位者に対してはなかなか効果的な講習を提供出来ていませんでした。中学3年生でACを設置することによって、上位者に対しては授業内で発展的な内容を扱えるようになるため、これからは中位者に対して発展講習を行っていくと考えています。ACの設置はACよりもむしろSCに対して手厚い指導が可能になるシステムであると考えています。ACを来年度は3・4年生で、その次の年は3・4・5年生で、というように

年次進行で設置していきます。1年ごとにクラス替えを行い、生徒同士の切磋琢磨をうながしていきたいと思います。

## **(2) 「EMK未来館」(放課後学習支援センター、仮称)の導入 (10月スタート予定)**

本校は伝統的に「面倒見のいい指導」を評価されています。特に学習面に関しては何と言っても質の高い「授業」を提供しています。各授業担当者は熱心に教材研究を行うと同時に、2年前にすべての教室に整備された電子黒板機能付きプロジェクターやスクリーンなどを駆使して、生徒に「わかる」授業を行なっています。そして生徒にその授業の理解を深めてもらうためにたくさんの宿題・課題を出します。理解が足りない生徒に対しては随時、補習や居残り指導を実施。また一方で発展的内容を学習したい生徒のためには発展講習が用意されます。昨年度は本校卒業生のチーチャーが3名在籍し、放課後に生徒の学習指導、個別指導も行いました。

このように穎明館では面倒見よく丁寧に指導を行なっています。ただ最近は学習内容が「わかった」で止まる生徒も増え、個人差も強く表れるようになりました。学習内容は分かるけれども家庭学習が不十分なために定着が出来ていない。「できる」状態になる前に授業が先の内容に進んでしまい、定期試験のころには学習内容を忘れてしまっている。こうした生徒を多く見受けるようになりました。もっと個々に応じたサポートを強くしていくべきではないかと検討を進めてきました。その結果、「わかる」から「できる」を目指し、放課後の個々の自学自習をさらに強くサポートするために「EMK未来館」(仮称)を10月から導入いたします。これにより部活を熱心にやっている生徒も練習後に放課後学習支援センターに寄ってサポート付きで学習を行なってから帰宅する、という学校完結型の学習も可能となります。詳しくは今後さらに検討をしていきます。10月スタートの予定です。

## **(3) グローバル教育のさらなる充実 ~オンライン英会話、海外大学推薦制度の整備**

本校は「国際社会に羽ばたく真のリーダーの育成」とあるように、開校以来、グローバル教育に力を入れてきました。中学1、2年生は週に7時間ある英語の時間のうち1時間を英会話の時間としています。クラスを20人ずつの2グループに分け、それぞれに外国人教師2名で英会話の授業が行われます。高校1年生時に全員参加で行われる2週間の「USAカナダ体験学習」は30年前から毎年実施されています。また、高校1年生に対しては希望者に対してネイティブによる第2外国語教育を行なっています。現在はフランス語と中国語を水曜日放課後に開講しています(英会話も同時開講)。また、本校はイギリスにあるパブリックスクールの名門イートン校を範に創立されましたが、2015年からはイートンサマーカレッジプログラムに参加が認められるようになりました。今年は5年目となりますが、26名の生徒が参加予定となっています。さらに昨年度からオーストラリアのターム留学制度がスタートし、3学期に高校1年生2名の生徒が参加してきました。グローバル教育の充実に加えて、大学入試改革の民間検定試験の導入4技能重視の方針にも対処をしっかりと進めています。『EMK未来プロジェクト』としては今年度、オンライン英会話システムの導入、海外大学への推薦制度を整備していく予定です。

## ● 「2019 頴明館教育のグランドデザイン」のもとに

本校が 30 年以上かけて構築してきた教育プログラムは「2019 頗明館教育のグランドデザイン」としてまとめられました。『EMK未来プロジェクト』はあくまでもこのグランドデザインのもとに行われるプロジェクトとなります。そのグランドデザインを支える土台は5つの部（進学指導部、生徒指導部、国際交流部、入試広報部、教務部）です。この5つの部と5つのプロジェクトチームがあらゆる角度から生徒の学力向上を後押しし、国際社会に羽ばたく真のリーダーの育成に向けて努力していきます。

## ● 頗明館ならではのすでに行われているプログラム紹介

### ○ 中学1、2年生数学におけるチームティーチング

中学1、2年生は数学の授業が週に6時間行われます。そのうちの1時間では2名の教員が指導にあたります。1名が授業を行い、1名が生徒の理解をサポートします。昨年度から導入されたシステムですが、数学科では効果があると判断し今年度も継続して行っています。

### ○ 中学1、2年生英会話授業、高校1年生 USA カナダ体験学習・第2外国語

中学1、2年生は週に1時間、英会話の授業があります。約40名のクラスを半分ずつに分け、それぞれにネイティブの先生と ALT（アシスタント・ランゲージ・ティーチャー）2名による授業が行われます。

高校1年生では全員が2週間 USA カナダ体験学習に参加します。アメリカのシアトルにあるワシントン大学の寮に寝泊まりをし、近隣のブッシュスクールで午前中は語学研修。午後からはさまざまアクティビティを経験します。最後にカナダに移って2泊3日、2人1組によるホームステイを行います。

高校1年生次には希望制により週1時間第2外国語（フランス語、中国語）を履修することができます。最近は英会話を希望する生徒が多く、同時に英会話クラスを3クラス開講しています。

### ○ イートンサマーカレッジスクール、オーストラリアターム留学

本校はイギリスにある名門「イートン校」を範に創立されました。そのイートン校でのサマープログラムに2015年より参加出来るようになりました。希望者による3週間のプログラムで、2019年は26名が参加することになっています。

昨年よりオーストラリアのターム留学の制度がスタートしました。3学期にオーストラリアの現地校に短期留学するプログラム。昨年度は高校1年生2名が参加してきました。

### ○ 生徒主体の文化祭、体育祭

本校の文化祭、体育祭はそれぞれの実行委員会により生徒主体で運営されます。クラス、有志団体、各部による発表は毎年熱気にあふれたものとなっています。